

アメリカを中心に全世界で数万人、日本で2000名近い会員が属しており、不正防止対策や調査、摘発の仕事を行っています。

また、企業の内部監査部門や上場企業の監査役、弁護士や私のような公認会計士も多く所属しています。

私は平成18年から公認不正検査士としての活動を行っており、今年6月からは協会の理事も仰せつかっております。

今回のカンファレンスで話題となったのは、主に

- ①総務省統計委員会 委員長 西村清彦氏 による「不適切統計問題」
- ②第三者委員会報告書格付け委員会 副委員長 弁護士 國廣 正氏 による「第三者委員会の実態と課題」とパネルディスカッション
- ③内部監査でどのように不正の兆候を探るか、というパネルディスカッション
- ④朝日新聞編集委員 奥山 俊宏氏による、「組織の風土から見た福島第一原発「失敗の本質」

といった内容でした。

今回はありませんでしたが、時々大きな不正を犯し、刑事罰を受けて服役、刑期を終えた方のスピーチもあります。

日本のカンファレンスですと、以前は巨額のギャンブル資金流用事件を起こした大王製紙の元会長、また全米のカンファレンスの場合「エンロン事件」の首謀者であるCFO、すなわち最高財務責任者などです。

これらの演者は、注目度も高いので講演料が高くなるように思われますが、実は社会貢献のため無償でスピーチに応じてくれることになっています。

私が公認不正検査士になってから13年が経過しましたが、統計的にも感覚的にも、不正がどんどん増えてきている気がします。非常に残念なことです。

従業員が横領やセクハラやパワハラといった不正を起こすだけではなく、今騒がれている関西電力のように、トップマネジメントがかかわる不正も後を絶ちません。

不正はもちろん悪いことですし撲滅しなければなりません、我々経営者はそもそも不正を起こさせない風土やガバナンス、すなわち組織運営の仕組みといったものも、昭和な発想を少し改めて対応していく必要があります。

以上で会長の時間を終わります。

3. 幹事報告 甚田 隆康 幹事

①本日1時40分から6階「桃の間」で10月理事会を開きます。宜しくお願いいたします。

4. ニコニコ報告 小島 常男 親睦委員

新川、小島、清水、栗原、俣野、宮原、山川、松永、小山、北野、塩尻、岡本(真)、原山、大磯、井澤、岡本(茂)、片岡、吉本、甚田、大嶋、松谷、

各会員……ラグビー日本代表の快進撃に拍手！

藤井、小島、両会員……10月創立記念日

宮原、岡野、清水、伊藤、北野、栗原、各会員……10月結婚記念日

5. 出席報告 藤井 宏明 副SAA

会員総数 34名 出席率計算会員数 34名 出席会員数 27名 出席率 79%

第1377回(9月9日) 修正出席率 88%

6. 卓 話 米山奨学生 ゴーチュンタン 君



朝日新聞奨学生として、大阪で2年間毎日新聞配達しながら、日本語学校に通っていました。私が日本に来たのは、義理の姉の影響が大きいと思います。義理の姉は10年ほど前、留学生として5年間日本に滞在し、奈良教育大学大学院を卒業しました。ベトナムに帰ると、いつも私に日本について色々なことを話してくれました。日本の四季の素晴らしさや、日本人は勤勉で日本企業ではチームワーク意識が強く、マナーが厳しいなどを聞かされて、いつの間にか日本に留学して、勉強したいという夢を持つようになりました。

朝日奨学生として来日できる機会に恵まれ、自分の目で日本を見ることになったのは幸せなことでした。百聞は一見に如かずで、日本に来て視野も広がりました。色々と素晴らしい日本人の方と触れ合え、勉強する気も強くなり、日本語学校での2年間はがむしやらに日本語を学びました。

自分の居心地よい場所から少し出て、自分の幅を広げ、自分を成長させたいと常に思っています。

来日後、日本とベトナムについて色々考えるようになりました。ベトナムは農産物の生産で強みを持っていますが、私は日本のスーパーに行くたびに、ベトナム産の農産物は本当学校での2年間には少なく、中国産、アメリカ産、フィリピン産やアフリカ産などを多く見かけていました。だから将来、ベトナムの農産物を日本に輸出するという仕事をしたいと思っています。

そのためにもいつも自分への投資意識をしっかり持ち、今から必要な知識を徐々に身に付けて、大学卒業後に日本で国際的な貿易会社に勤めて経験を積みたいと思っています。

それから、ベトナムに戻って、日本で学んだ知識と日本の会社での経験を生かして、ベトナムの日本企業で働くだけではなく、自分の貿易会社を起業し、ベトナム産の美味しい農産物を日本で販売したい、日本とベトナムの架け橋になりたいと思っています。

そして、義理の姉のように、日本で体験したことや、日本人の自然や社会、また国民性などをベトナムの若者たちに語りたいと思っています。人と人のつながりたいと思っています。将来ベトナムの美味しい農産物を日本に持って来たいと思っています。日本とベトナムの架け橋になりたいです。

私は日本に来る前にベトナムは農産物の生産で強みを持っているので、海外にたくさん輸出されていると思い込んでいた。それで、日本のスーパーに行くたびに、農産物の生産地が気になり、ベトナム産を探したが、ほとんど見つけることができなかった。東南アジアの農産物といえば、中国産とかフィリピン産とかタイ産とかがよく見つかった。その理由を知りたくて自分で調べてみたら、ベトナムでは栽培に先進的な技術が適用されていない、集約的に栽培されていない、品物のピーアールが促進されていない、などの理由でなかなか日本市場に出荷できていない、ということであった。農産加工品にしても、加工技術が進んでいない、設備投資がなされていないことなども大きな問題である。また、ベトナムの農産物が厳しい日本市場に輸出されるためには食品安全衛生に関する基準を満たさなければならないことを知った。ベトナムの農産物が日本のスーパーに並ぶまでにはまだまだ解決せねばならない課題が多くある。加えて、これからは多様化、国際化していく社会で人と人のつながりが必要だと思っている。そのためにも、専門の学習以外に、ボランティアや国際的な交流会などに積極的に参加している。ベトナムを外側から見るいい機会でもあるし、色々な価値観や考え方の違いに触れるいいチャンスである事は間違いないと感じている。これらの目標に向かって精励し、将来はベトナムの農産物の日本への流通と越日文化交流を促進するような仕事をしたいと思っている。

10月度理事会報告

2019年10月7日(月)於:ホテル日航大阪 13:40~14:40

(議案)

1. 9月度会計報告⇒ 承認
2. 日航ホテル食事代とビジターフィーについて
⇒月に1度軽食を採用することが承認された(基本は第2週目とする)
ビジターフィーについては、以下のとおりとする
通常時: ¥5,000 軽食時: ¥3,800
また、和食の準備数量は34食とし、不足分は軽食にて対応する
3. バリ島奉仕の活動予定について
⇒ 10/12 出発、10/16 帰国予定 現地タマンRCの例会にも参加予定
4. クリスマス会員家族懇親会について
⇒ オークションへのJDM出品説明と協力要請があった
5. 地区大会友愛広場参加について
⇒ 当クラブとしてJDMの参加を支援することとなった
6. その他
 - ・女性会員受け入れについて ⇒ 会長、清水会員にて継続対応中
 - ・会費未収金の取扱いについて ⇒ 会長、小山会員より連絡予定とする(渡辺氏)
 - ・米山特別寄付について ⇒ 例年通り実施することが承認された
 - ・米山奨学生カウンセラーの費用負担について ⇒ 見送りとされた

☆次回10月28日(月)例会予定

- ・卓話 地区米山奨学委員会
- ・入会候補者向けプレゼン
- ・指名委員会 6階「橋の間」13:40~14:40

※例会場は7階「フォントナ」に変更になっております